

各 位

上場会社名 株式会社 アイ・オー・データ機器
 代表者 代表取締役社長 細野 昭雄
 (コード番号 6916)
 問合せ先責任者 社長室 室長 真田 秀樹
 (TEL 076-260-3377)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年8月11日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年6月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年7月1日～平成21年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	21,800	△400	△360	△400	△29.03
今回発表予想(B)	20,569	143	115	314	23.40
増減額(B-A)	△1,231	543	475	714	
増減率(%)	△5.6	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年6月期第2四半期)	25,496	△130	△346	△319	△22.97

平成22年6月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年7月1日～平成22年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	44,800	△380	△310	△390	△28.30
今回発表予想(B)	43,800	260	240	400	29.34
増減額(B-A)	△1,000	640	550	790	
増減率(%)	△2.2	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年6月期)	45,785	△725	△1,007	△1,050	△76.24

修正の理由

(第2四半期累計期間)

当社を取り巻くパソコンおよび周辺機器市場におきましては、依然として法人個人ともに需要回復への動きは鈍く、厳しい状況が続いております。このような状況の下、当企業グループは新OS「Windows7」や、地上デジタルTV関連市場に対応した製品の拡充を図り、新たな増設需要の獲得に努めましたが、製品全般の増設需要は当初の予想以上に低調に推移したことにより、売上高は前回予想を下回りました。しかしながら利益面においては、デジタル家電周辺市場向け製品を中心に付加価値製品の販売が好調に推移したほか、グループを挙げ徹底して取組んだ原価低減および経費削減が当初の想定以上に効果をもたらし、営業利益および経常利益は前回予想を上回りました。四半期純利益につきましては、特別利益にリサイクル費用引当金の戻入益85百万円、法人税等調整額に1億82百万円を計上した影響により、前回予想を上回りました。

(通期)

当社を取り巻く経営環境は、一部に持ち直しの動きは見られるものの、消費や雇用環境は依然として低迷しており、本格的な回復には至っておりません。この厳しい状況は当面継続することが予想されますことから、通期の業績予想については、売上高は前回予想を下回る見込みであります。一方、利益面においては第2四半期累計期間の業績進捗を勘案し、営業利益および経常利益、そして当期純利益は当初の予想を上回る見通しから、前回公表いたしました予想を修正いたします。

以 上